

外科医療確保特別加算に関する取り組みについて

当院では、対象手術（＊）を受ける患者さんに対し、安全で質の高い医療を提供するため、地域の保険医療機関と連携し、外科医療確保体制加算の施設基準に基づく体制を整備しています。

・対象手術の実施体制

当院では、高度な専門性を要する対象手術について、経験豊富な医師、看護師及び医療スタッフによる診療体制を整備し、安全な手術医療を提供しています。

・地域医療機関との連携と、術後のフォローアップ体制

当院では、患者さんが継続して適切な医療を受けられるよう、地域の保険医療機関と連携し、術前管理、手術後の治療方針、緊急時及び合併症発生時の対応などについて協議を行っています。

また、退院後は当院及び地域の医療保険機関と協力し、外来診療、経過観察、服薬管理等を実施し、患者さんの継続的な治療を支援します。



<＊：対象手術>

腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
腹腔鏡下胃切除術
腹腔鏡下直腸切除・切断術
膵頭部腫瘍切除術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
肝切除術
腹腔鏡下肝切除術

腹腔鏡下結腸切除術
胃切除術
胃全摘術
結腸切除術
直腸切除・切断術
後腹膜悪性腫瘍手術
膵体尾部腫瘍切除術 等

これらの体制を整備することで、地域医療機関との連携を一層強化し、患者さんが安心して最適な治療を受けられる医療体制の構築に努めてまいります。